

『第一大臼歯の萌出プロセス模型』

1、作製目的

第一大臼歯が萌出し上顎と咬み合うまでの様子を、視覚で理解してもらう。



2、材料



①1.5L炭酸飲料ペットボトル(第一大臼歯用)・・・1本
(凸が5つのものが望ましい)

②500ml 炭酸飲料ペットボトル(乳臼歯用)・・・2本

③紙ねんど 重めのもの

④紙ねんど 軽めのもの(うすいピンク)

⑤紙ねんど 軽めのもの(白)

⑥①②が入る長方形のプラスチックケース

⑦カラスプレー(白)

⑧新聞紙

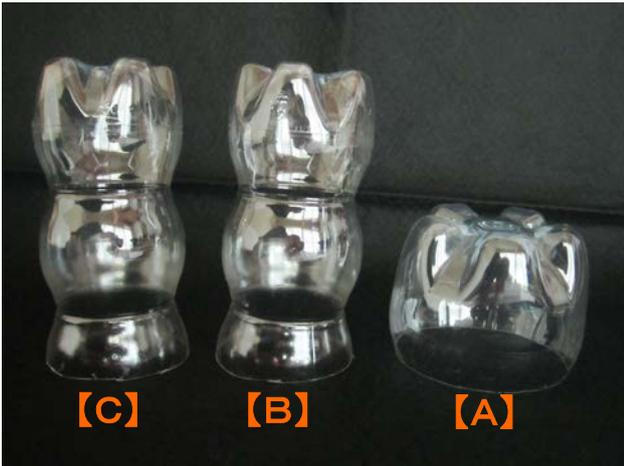
⑨プラスチックケースに貼るフェルト

⑩ガーデニング用くまで

※その他ねんどべら、はさみ、カッター、スプレー使用時の手袋、マスク、接着剤など

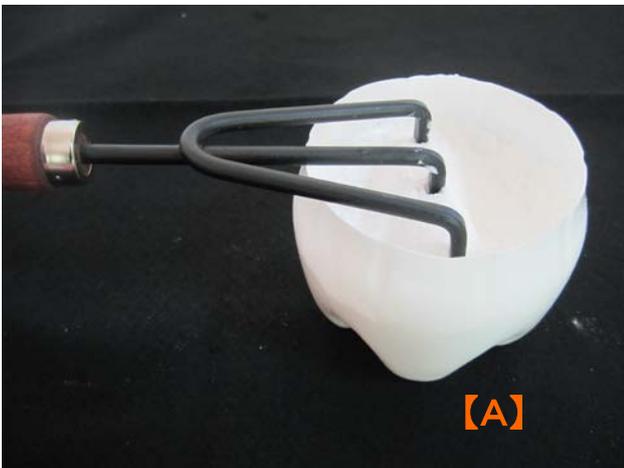


3、手順



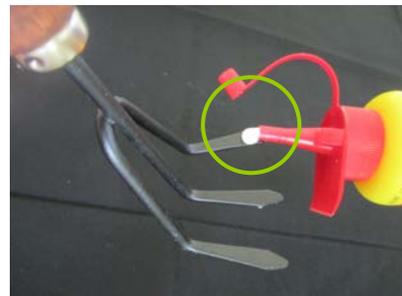
1) ペットボトルを切る。

- (1) 1.5L 炭酸飲料ペットボトルを底から8cmくらいのところで切り、第一大臼歯を作る。【A】
- (2) 500ml 炭酸飲料ペットボトルはプラスチックケースの深さ+歯冠(歯の頭)が出るくらいの長さに切り、乳歯を作る。【B】【C】
- (3) 内側にカラスプレー(白)を吹き付け、計3本を作る。



2) 第一大臼歯を作る。

- (1) 【A】の中に紙ねんど(白)を詰め、ガーデニング用くまでを中央部に刺し固定する。(乾いてから抜けるのを防止するため、差し込む部分に木工用ボンドを塗るとよい)



- (2) プラスチックケース側面に、(1)で作ったペットボトル付きくまでが操作できるよう、穴を開ける。(あとからは入らないので、先に入れ、そのまま作業を進める。)



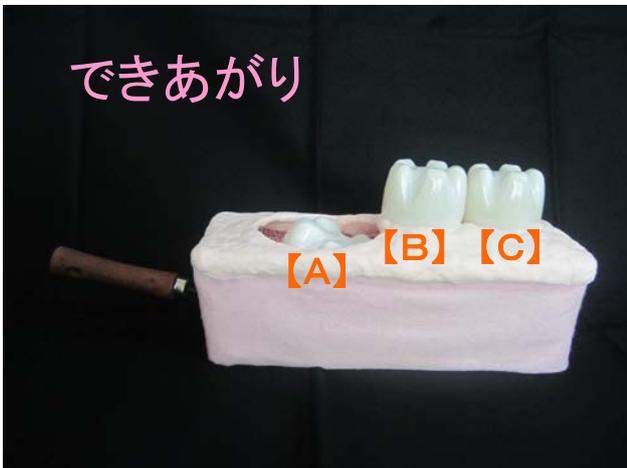
3) 土台を作る。

- (1) 安定をよくするために、プラスチックケースの底に重めの紙ねんどを1cm くらいの厚さに敷く。(たくさん使用すると教材自体が重くなるので注意！)



4) ペットボトルを並べる。

- (1) 【B】(乳歯 D)をプラスチックケースの端から1cm くらいの位置に余裕をもたせ立てる。
- (2) 【B】の横に背の高さを合わせて、【C】(乳歯 E)を立てる。



5) 歯肉を作る。

- (1) プラスチックケースの上縁から、【B】【C】の歯頸部 (歯の首のまわり)まで紙ねんど(うすいピンク)で覆い、歯肉を作る。(この時、すきま全部に紙ねんどを使用するとたくさん必要になるので、新聞紙でしっかりすきまを埋めるとよい)

※第一大臼歯のまわりは、1.5L ペットボトル付きくまでが可動できるように、穴の大きさに注意する。

- (2) プラスチックケースのまわりをフェルトで覆って
完成！